

— 後 記 —

室住一妙先生の「古稀記念号」として、学外からも、有縁の先生方に執筆していただき、重厚な論文集となりました。ご執筆下さった各位に深く御礼申し上げます。

「純粹宗学」といわれている室住先生の学説は、四十余年間における身延山での生活において、多くの人々を化導してこられました。さながら本妙日臨師の学風を継ぐが如くに、宗学一途に過ごして、古稀を迎えられました。

かつて塩沢の本妙庵から、歩いて大学へ通勤された時も、手から本を離さず、又講義に熱が入ると、時の経つのを忘れて、ひたすら祖意に直参しようとする純粹な態度が、よく人柄を顕しているように思えました。

最近の先生は、『棲神』に発表しておられる論文の上からもわかるように、難解をさけて極力平易な叙述にとめられ、時に興が発すると詩や歌を作り、文中にこれを挿入しながら論を進めるというスタイルに変わって来ています。

年輪を古るに従って、学風にますます円熟味を持って来られた一つの現れか、とも考えられます。故松木本興

先生の後を継いで、学頭になられた先生は、学園発展の上にも努力して来られています。が、今後もご健康で、いつまでも教壇に立たれ、後進の教育に尽力せられるようお祈りいたします。
(上田・記)

棲 神 四十八号

昭和五十年十月二十一日 印刷
昭和五十年十月二十八日 発行

編集者 里 見 泰 穂

発行者 室 住 一 妙

印刷者 宮 田 如 龍

印刷所 甲府市中央二丁目十二・三十一
大 宣 堂 印 刷

山梨県身延山東谷

(電話四〇九一二五)

発行所 身延山短期大学学会

振替(甲府) 一二七五番
電話身延(五五六六) 二一〇一七